

日本ゼオライト学会 会員の皆様

来る6月7日に開催される第5回参照ゼオライト討論会, ならびに令和元年度ゼオライトフォーラム「多孔質材料の未来予想図」に関して, ご案内です。

(1) 第5回参照ゼオライト討論会

SSZ-13ゼオライトを参照ゼオライトとして指定し(第1回参照ゼオライト討論会@工学大), 合成, 触媒反応, 構造解析のチームに分かれて評価検討しました(第2回@岐阜大)。統一条件でのSSZ-13合成と構造評価(第3回@東大生研), SSZ-13の大量試作ならびに構造および特性評価(第4回@函館)を通じて, いよいよ参照ゼオライト1号を指定することができるか?最終段階となりました。

今回は, 第4回討論会での反省を踏まえ, 銅イオン交換プロジェクトを行い, そのゼオライトに関する評価結果を以下のように行う予定です。よろしくご参集ください。

プログラム 10:00-12:00 (予定)

- ・イオン交換プロジェクト報告(小倉, 他)
- ・NMRによるゼオライト評価に関する前処理条件の検討(近江, 田口)
- ・総合討論

(2) 令和元年度ゼオライトフォーラム「多孔質材料の未来予想図」

参照ゼオライト討論会同日午後に, 標記開催いたします。奮ってご参加ください。

プログラム 13:30-16:30

・山田 岳 氏(ジョンソン・マッセイ・ジャパン)「ディーゼル排気後処理技術—課題とゼオライト技術の応用」

ゼオライト・ユーザーとして, 大きな市場の一つである自動車産業のうちから, 触媒メーカーの老舗であるジョンソン・マッセイ・グループの山田氏より, SCRだけでなく, 多岐に渡る自動車用ゼオライト・アプリケーション例の“現状と展望”を語っていただく予定です。

・Do Heui Kim 先生(ソウル国立大学)「Novel zeolite-based catalysts for the zero emission vehicles」

Kim先生は韓国・触媒科学研究グループならびに自動車触媒研究センターにおいて, 現在 Passive NOx Adsorber への Pd ゼオライト適用研究の第一人者として, その名前が知れ渡りつつある若手有望株の一人です。その先生に海を渡ってお越しいただき, “最近の成果および今後の展開”について, 議論させていただきます。

・植村卓史先生(東京大学)「ナノ空間で高分子を制御する」

植村先生は MOF/PCP 材料の内部空間利用化学の第一人者として, JST-CREST 研究リーダーをお務めの若手研究者です。本学会ではまだ研究者人口が少ないものの, 世界的な合成研究が推進されてきた MOF 系多孔質材料の“いま現在”をご教示していただき, 先生の得意分野である高分子合成への反応容器としてのアプリケーションなど, “現実と夢”を語っていただきます。